



あゆみだより

令和7年度第27号

令和8年2月9日発行

沼津市立沼津高等学校・中等部



今シーズン一番の強烈な寒波の影響はが沼津にも!! 聞くとところによると、沼津での積雪は約20年ぶりだったようです。交通網の混乱もありましたが、大学受験真っ只中の現在、高3受験生に大きな影響がないとよいのですが…。寒い冬は温暖化に起因する現象ともいわれます。寒さをしのぎ、体調を整えて、もう少し先の春を待ちましょう。先週のイベントをまとめました。

生徒が参画! 学校運営協議会 (2月4日)

学校運営協議会は、「コミュニティ・スクール」とも呼ばれ、保護者や地域の皆さんが学校運営に参画する仕組みです。地域と学校が協働して子どもたちの成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めることを目指しています。最近では、この学校運営協議会に生徒が主体的に参加する取組が増えています。

今回は、卒業を控えた高校3年生5人に、3年間あるいは6年間の学校生活を語ってもらいました。

まずは自己紹介。出身中学校(中等部or中学校)、卒業後の進路(4年制大学、専門学校、就職)、将来の夢、高校生活についてなど、一人ひとり語ってくれました。



終わって、ピース🙌🙌🙌🙌🙌

大人の方々が温かく聞いてくれたので話しやすかったです。



最初はとても緊張していてもうまく話せるかわからなかったけど、委員の方も優しくして反応してくれたので話しやすかったし色々質問してもらって話すことができた。少しでも自分たちが参加して力になれたらいいなと思います!

続いて、座談会。委員の皆様からの質問に答えながら、話が弾みました。盛り上がり、予定していた時間を大幅にオーバー!

以下、その一部(実際の会話をシンプルに表現しています)。

Q 中高一貫の強みは何だと思いますか?

A シニアティーチャーです。

Q 中等部生とどのような関わりがありますか。またそれでよかったことはどのようなことですか?

A シニアティーチャーに参加することで中等部生と関わるができるし、教えることで自分の勉強も一から復習することができます。

Q 進路をどのように決定しましたか?

A 個別指導の先生に相談しました。

Q なぜ「経営」したいのですか?

A 地元のポテンシャルを活かしたいです。

Q プレゼンはどのようにして力をつけましたか?

A 求道や英語の授業で多くプレゼンをしていたので力がつきました。

Q 進路に迷わなかったのでしょうか?

A 小さい頃からなりたいと思っていたので(迷いませんでした)。

迷ったのは、大学に行くのか専門に行くのかです。

Q 小学生からどのような力を付けられればいいですか?

A iPadや授業で使う電子機器の使い方は慣れておくと思います。



生徒が参画することには、どのようなメリットがあるのでしょうか。

【生徒】学校づくりの当事者という主体的な意識が育れます。また、社会の一員としての自覚や社会参画の意識が芽生え、社会性が育れます。

【学校】生徒の視点は、学校運営の改善に新たな視点をもたらします。生徒が学校づくりに積極的に関わることで、学校全体に活気が生まれます。

【地域】地域の方々が生徒の活動への理解を深め、具体的な支援へとつながります。学校や子どもたちを支えようという意識が高まり、子どもたちの成長を促す好循環が生まれます。

【中高】好天を駆け抜ける一持久走大会 (2月5日)

毎年恒例の持久走大会(@愛鷹運動公園)。この日は風もなく暖かで、絶好の日和でした。中等部生(全学年)181人、高校生(1, 2年)345人(計526人)が出走! ここまで積み重ねてきた練習の成果を出し切りました。



▲女子スタート前の整列。いよいよ。ドキドキ。



▲男子スタートしました! みんながんばれ〜。



▲最終ゴール、頑張った! みんなで見守っています。



▲表彰式(中等部生) 入賞おめでとう。



▲表彰式(高校生) みんな頑張った!